



令和8年度 国立市立小学校長会

I 活動方針等

【くにたちイレブン】

本市校長会は、小学校8校・中学校3校の合計11校で構成されている。11名の校長が密に連携し、情報共有や意見交換等しっかりとつながって運営をしている。また、校長会と本市教育委員会との連携・協力も密接で、各校の責任者としての意見や見解を共有させながら、充実した教育活動の実現に努めている。

II 主な活動・取組

1 教員研修の推進・・・【国立市立小学校教育研究会】

小・中全教員悉皆の研修の場として授業研究を中心に行ってきた「小・中学校合同授業研究会」を国立市独自カリキュラム検討のため一時休止にし、今年度から小学校教員の有志が参加する「国立市立小学校教育研究会」が期間限定で始まった。年度当初に参加希望を募り、今年度は6部会が開設されている。その運営は、校長会、副校長会で協力して行い、授業を通した研究の他に、実技研修や施設見学等、部員の創意を活かして運営されている。

2 連合宿泊行事の運営

小学校長会は、連合で行う宿泊行事の運営を担当している。2つの連合宿泊行事（6年生対象の「日光移動教室」、5年生対象の「野外体験教室」）の取扱業者の選定や実踏の計画作成、担当者会の招集など、市教育委員会とも連携しながら実質的に推進している。

3 教育課題への対応

○「国立市独自カリキュラム」の検討開始

本市教育委員会と校長会が中心となり、中教審が示している「調整授業時数制度」を活用した国立市独自のカリキュラム開発についての検討を始めた。

○「国立市教育リーダー研修会」の実施

市内小中学校の主幹教諭、指導教諭、主任教諭を中心とした、これからの国立市を担う教育リーダーを育成する研修会を、市教育委員会とともに共催している。今年度も教育課題の解決策を企画するという実践的な研修会を実施する予定である。

III 特色・特徴等

教育大綱「自分もみんなも幸せな社会を目指す教育の実現」には、「一人一人のちがいがから生まれる多様な力を掛け合わせでより良い社会をつくる」という内容が掲げられている。

現在、国立市の「一人一人がその子らしくいられる環境づくりと教育活動」の実現に向け、「子供の人権を大切にする教育活動の推進」「学校・学級の包摂力を高める取組」「魅力ある学校づくりの推進」等、市内11校と市教育委員会が連携・協力をして歩みを進めている。

